

タオル・メッセージの回収期間

2019年5月6日(月)～
5月17日(金)まで

生産者に

タオルを
届けよう!

※一枚からでもOKです

きれいなタオル
うれしいな～私たちが飲む
牛乳づくりを支えるために良質な生乳を
作るために、
たくさんのタオルが
必要です。

\未使用に限る／

あなたのタオルとメッセージをお待ちしています!

メッセージを贈る牛乳を○(マル)で囲んでください。



ご提出方法

メッセージ、所属センター名を記入し、本用紙
をタオルといっしょに返却の箱に入れて提出
してください。ご利用の生協名【 】
センター名【 】
生産者へ【 】枚のタオルを贈ります

自由にご記入ください

(イラストも大歓迎です)

家で眠っている
タオルで
結構ですよ

第34回 タオルを贈る運動



1985年からのべ**242万枚!**



組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、
生産者との「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という想いがつながり、

生まれたのが、低めの温度で殺菌するパルシステムの牛乳。

そんな牛乳づくりには、菌数の少ない良質な生乳が欠かせません。

生産現場では、清潔な環境を保つため、たくさんのタオルが必要になります。

そのことを知った組合員が「私たちにできることは?」と、

組合員同士で声を掛け合い、1985年にスタートしたのが「タオルを贈る運動」です。

昨年はタオル58,972枚、メッセージ4,260通を産地に贈りました。

産地では

こんなふうに使っています



◀乳房を
ふいて清潔に
することで
生乳の菌数が
抑えられます



◀タオルは
洗って繰り返し
大切に使い、
1ヵ月くらいで
新しいタオルに
取り替えます



▲牛がびっくりしない
ように、ぬるま湯に浸した
タオルで乳房をふきます



・生産者より

心のこもったタオルを
ありがとうございます!

組合員のみなさま、毎年心のこもったタオルをたく
さん贈っていただき本当にありがとうございます。
清潔な状態での搾乳作業に欠かせないのが、みなさ
まから贈っていただいたタオルです。子牛のからだを
ふくことにも使わせてもらっています。メッセージを読
むと、なごんだり、がんばろうと励まされたり、大人の
方からお子様まで直筆で書いていただいている
のがなによりうれしいと感じます。

『酪農家の牛乳』
『酪農家の低脂肪牛乳』の生産者
嶋田治彦さん・早苗さん夫妻(埼玉県)



こんなタオルをお願いします



白がベスト

(牛の乳房などをふいている
ときに出血などがわかるため)
色柄物でも構いません
(作業用具などの清掃に使えます)

のし紙や袋は
そのままで
大丈夫

(未使用だとすぐにわかるため)



ハンドタオル

(小さすぎるため)



てぬぐい

(うすいため)



使用したタオルは
洗濯済みでも
ご遠慮ください

